

2023年3月13日

各位

株式会社北洋銀行

北洋銀行花川北支店が「ZEB Ready」の認証を取得しました

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、環境課題への取り組みとして、道内金融機関では初となる改修工事による「ZEB Ready(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル・レディ)(別紙ご参照)」の認証を受けましたのでお知らせします。(2023年2月28日交付 国土交通省告示に基づく第三者認証)

当行は、計画的に店舗設備の更新を行っています。花川北支店は、各設備を高効率なものに更新することにより、同店の一次エネルギー消費量^{*}を53%削減、CO2排出量は、2013年度比47%削減できる見込みです。

^{*} 設備機器のエネルギーを熱量に換算した値のことで、冷暖房だけではなく、換気や給湯、照明なども含めた合計の値

【主な更新設備】

- ・空調設備 : 油燃料から高効率電気式空調機に更新
- ・換気設備 : 高効率な電気式システムに更新
- ・照明設備 : 全照明を高効率LED化、在室検知、照度補正などの制御装置も導入

北洋銀行では、CO2排出量を2030年度までに2013年度比50%削減し、2050年カーボンニュートラルを目標としており、今後も、脱炭素社会実現に向けてCO2排出量の削減を目指してまいります。

【北洋銀行花川北支店】

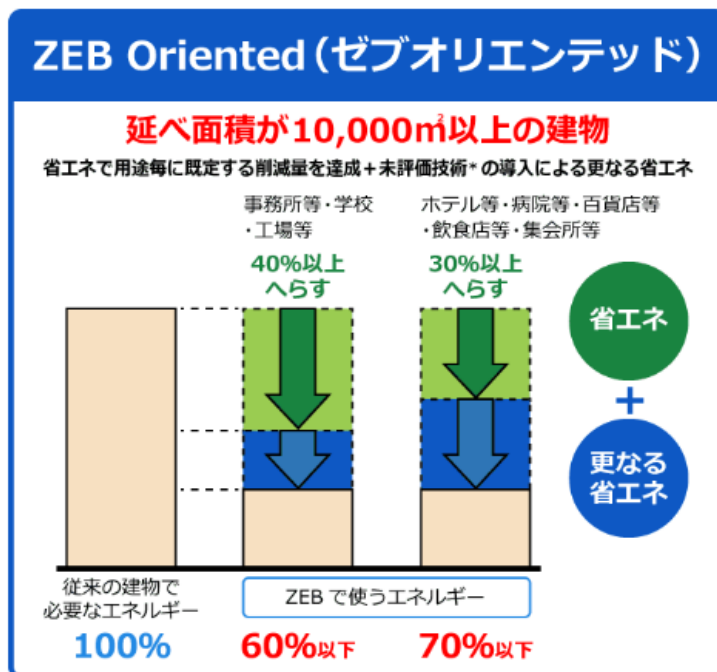
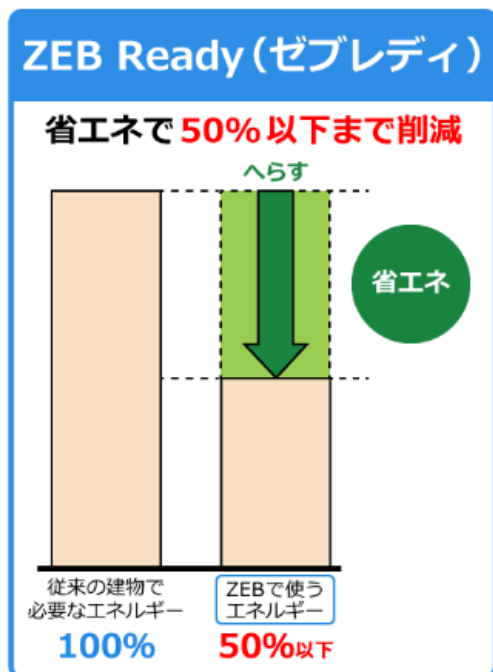
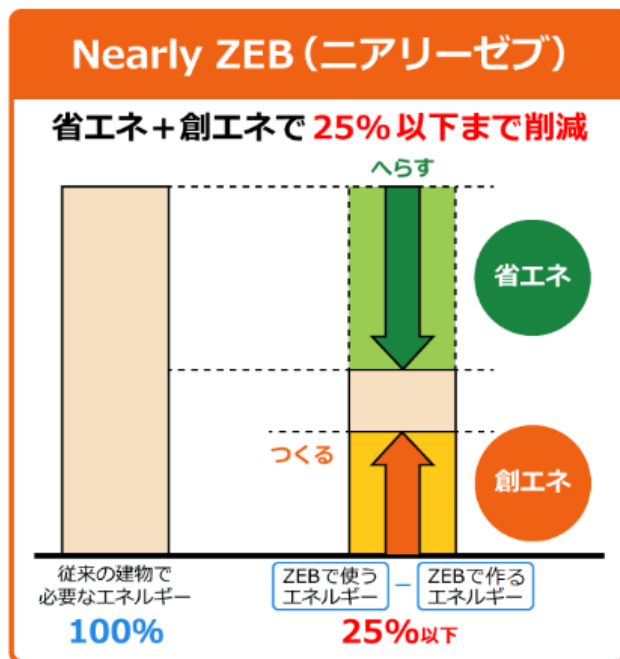
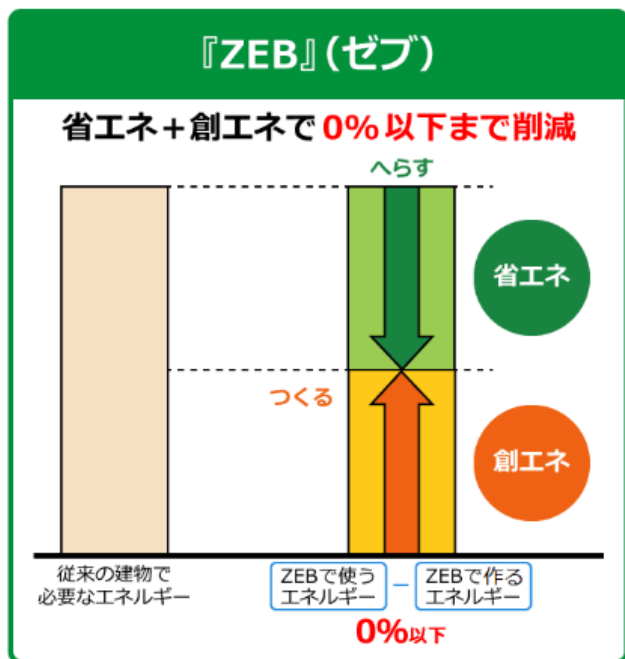


以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

ZEBの定義



*WEBPROにおいて現時点で評価されていない技術

BELS Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築物省エネルギー性能表示制度



この建物の
設計一次エネルギー消費量 **53%削減**
483MJ/(m²・年)



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	-

誘導基準 (40%削減) 省エネ基準 1,048MJ/(m²・年)
※再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率



北洋銀行花川北支店
 2023年2月28日交付
 国土交通省告示に基づく第三者認証
 (日本ERI株式会社)

BELS 評価書

申請者の連絡先

北海道札幌市中央区大通西3丁目7番地

申請者の氏名又は名称

※複数申請者の場合は、別紙に記載されます。

株式会社北洋銀行 経営企画部 総務G 横山裕治

下記の建築物に関して、BELS 評価業務方法書に従って評価を行った結果について証します。
なお、評価結果については、提出を受けた図書にて評価したものであり、それ以降の計画の変更や時間経過などによる変化がないことを保証するものではありません。

建築物の所在地	地域区分	2	評価結果	
北海道石狩市花川北3条3丁目12番地				
名称				
北洋銀行花川北支店				
建築物に関する基本的事項				
階数	地上2階	構造		鉄筋コンクリート造
延べ面積	873.82㎡			
新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)	1980年12月1日			
申請対象部分に関する基本的事項				
用途	銀行の支店			
改修の竣工時期 (※1)	2023年6月30日			

(※1) 申請対象部分を改修する場合のみ記載されます。


評価結果				
■一次エネルギー消費量基準				
評価手法(※2)	非住宅部分	通常の計算法 (平成28年基準)	住戸部分 (共用除く) 対象外	
BEIの値 (削減率)(※3)	新築(改修後等)	0.47 (53%削減)	改修前	
単位面積当たりの一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	設計値 (その他除く)	483	設計値 (その他含む) 694	
	基準値 (その他除く)	1,048	基準値 (その他含む) 1,259	
■外皮性能基準				
外皮性能	非住宅部分	—	住戸部分	—

(※2) 平成28年基準とは、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号)に基づく基準をいいます。

(※3) 削減率とは、設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量除く)の基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量除く)からの削減率をいいます。

特記事項	
■「ZEB マーク」又は「ZEH マーク」、「ゼロエネ相当」、「ZEH-M マーク」に関する事項	ZEB Ready
再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率(※4)	53%削減
再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率(※4)	

(※4) 設計・基準一次エネルギー消費量は、「その他エネルギー消費量」を除きます。また、再生可能エネルギー量の対象は敷地内(オンサイト)に限定し、自家消費分に加え、売電分も対象に含まれます。住宅の場合、再生可能エネルギーは再生可能エネルギー等とし、太陽光発電システム、コージェネレーションシステムの逆潮流によるエネルギーをいいます。

評価書交付年月日	2023年2月28日	
評価書交付番号	001-11-2023-00468	
評価機関名	日本ERI株式会社	
評価員氏名	竹田 智樹	

評価結果 (詳細)							
■設備毎の単位面積当たりの一次エネルギー消費量について (MJ/㎡・年)							
非住宅部分 (※5)	設備項目	空気調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値	259.31	46.05	164.43	12.58	0.00	
	基準値	634.10	34.91	369.89	8.30	0.00	
住戸部分	設備項目	冷房設備	暖房設備	換気設備	照明設備	給湯設備	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						
共同住宅等の 共用部分(※6)	設備項目	空気調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						

(※5) 非住宅の評価手法がモデル建物法の場合は、「設計値」にB E I値が表示されます。また、「設備項目」に「エネルギー利用効率化設備」とあるのは「太陽光発電設備」となります。

(※6) 「エネルギー利用効率化設備」の「太陽光発電設備」は自己消費量を対象としています。

参考情報

■二次エネルギー消費量に関する項目 (※7)

・設計二次エネルギー消費量

太陽光発電による削減量 (※8) :

コージェネレーションによる削減量 (※9) :

電力 (買電量) (※10) :

ガス :

灯油 :

・基準二次エネルギー消費量 (※11)

電力 :

ガス :

灯油 :

(※7) 申請対象部分に住宅部分 (共用部分を除く) が含まれ、かつWEBプログラム Ver.2.4.2以降の計算結果が提出された場合に表示されます。

WEBプログラムとは、国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人建築研究所が公開している「エネルギー消費性能計算プログラム (住宅版)」をいいます。

(※8) 太陽光発電による発電量のうち、売電を除く自己消費量をいいます。

(※9) コージェネレーションによる発電量をいいます。

(※10) 総電力から、(※8) 及び (※9) を差し引いた電力をいいます。

(※11) 基準二次エネルギー消費量は、「クレジット制度方法論 番号 EN-S-039 Ver.4.0「省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修」に基づき算出しています。

■特記事項補足

- ・該当項目なし

■その他の項目 (申請者からの情報提供に基づいて記載した事項であり、評価に基づくものではありません。)